

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2017年2月2日～2017年2月8日)

平成 29 年(2017 年)2 月 10 日

H E A D L I N E S

<p>政治</p> <p>中央反汚職庁(CBA), ワルシャワ市の土地再民営化を巡る不正疑惑で関係者を拘束 ワルシャワ市議会, ワルシャワ拡大法案に関する住民投票実施に関する決議を採択 フレサ元大統領, 共産主義時代の秘密警察との協力を否定 露国防大臣, NATO演習を警戒 国防大臣, V4国防大臣会合に参加 国防予算配分計画, 公開 退役中将, 更迭 国営防衛産業, MBDA社と技術協力 ドゥダ大統領のウクライナに関する発表 シドゥウォ首相のEU非公式首相会合への出席 外国人滞在許可申請件数の発表 国営防衛産業, 米国ノースロップ・グラマン社と協力 大統領府国務次官, ポーランドによるベラルーシへの諜報員の侵入の報道を否定 米機甲旅団の一部, エストニアへ移動開始 カチンスキ PiS「法と正義」党首とフィツォ・スロバキア首相との会談 国防省報道官, 国防省のHP上の名簿から記載消える 第15旅団, ポーランド派遣予定の米軍を訪問 メルケル独首相のポーランド訪問 プシュミツル市長のウクライナ入国禁止の解除 ドゥダ大統領と周辺国防衛担当大統領補佐官会議での発言 ヴァシチコフスキ外相のEU外務理事会出席 ヴァシチコフスキ外相のスモレンスク政府専用機墜落事故に関する発言 ドイツ戦闘機, エストニア上空で露航空機に領空侵犯措置 新統合全般司令官, 任命</p>	<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！ 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>
<p>経済</p> <p>市電と市バスの車両の入札 中央銀行の経済予測 2017年の倒産件数見通し 昨年末の出生率増加 1月の新車登録台数 ポーランド企業が中国での生産から本国に回帰 ヴロツワフ市, 2018年より電気自動車レンタルサービスを開始 メルケル独首相との会談におけるシドゥウォ首相の発言(エネルギー関係) EUの CO2 排出量取引制度に関する環境副大臣の発言</p>	
<p>大使館からのお知らせ</p> <p>長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意 パスポートダウンロード申請書のご案内 大使館広報文化センター開館時間 文化行事・大使館関連行事</p>	

ポーランド日本国大使館
ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

政 治

内政

中央反汚職庁(CBA), ワルシャワ市の土地再民営化を巡る不正疑惑で関係者を拘束【6日】

6日, 中央反汚職庁(CBA)は, 昨年夏に発覚した共産主義時代に国有化されたワルシャワ市中心部の一区画の再民営化を巡る不正疑惑に関連し, ワルシャワ市職員2名及び元同市職員1名を拘束した。本件における拘束者数は5名となった。同日, シドウウオ首相は, 本件捜査の進展を歓迎すると共に, 事態解明の重要性に言及した。

ワルシャワ市議会, ワルシャワ拡大法案に関する住民投票実施に関する決議を採択【6日】

1月31日に与党「法と正義」(PiS)がワルシャワに32の近隣の郡を合併する法案を下院に提出したことを受け, 6日, ワルシャワ市議会は, 同議会にて過半数を占める市民プラットフォーム(PO, 国政では

最大野党)のイニシアティブによって, 3月26日に本件法案に関する住民投票を実施することに関する決議を採択した。他方, 同住民投票の最終的な実施には, マゾフシェ地方長官による同意を必要とするプロセスを経ることが条件となる。

ワレサ元大統領, 共産主義時代の秘密警察との協力を否定【7日】

7日, ワレサ元大統領は, 1月31日に国家記憶院(IPN)が, 1970年~76年におけるワレサ元大統領と治安機関との協力可能性を示す文書にある署名がワレサ元大統領本人のものであるとの筆跡鑑定の結果を公表したことに関連し, 自分が秘密警察と協力したことは決してない, 自分は自分なりの戦い方を有している旨述べた。

外交・安全保障

露国防大臣, NATO演習を警戒【1日】

1日, ロシア国防大臣は, 同日から10日まで黒海にて艦船16隻, 航空機9機, 人員2800人が参加するNATO演習・シー・シールド2017に関し, ロシアの権益を侵すことなく, 安全に行われることを望むとともに, 演習状況を完全に把握し, 万一の場合の準備はできていると述べた。また, 2017年, ロシアはザパド17等約2800回の演習を計画していると言及した。

国防大臣, V4国防大臣会合に参加【2日】

2日, マチェレヴィチ国防大臣は, ポーランド南部のニエポウオミツェで開催されたV4国防大臣会合に参加し, 安全保障情勢, V4間の安全保障協力の進展, 2019年に創設されるヴィシエグラード戦闘群等について意見交換した。

国防予算配分計画, 公開【2日】

2日, 国防省は2017年国防予算配分計画を公開し, 総額375.5億ズロチから近代化計画に114億ズロチ, 施設整備費に75億ズロチ, 社会保険費に66.8億ズロチ, 陸軍に31億ズロチ, 空軍に14億ズロチ, 海軍に5.8億ズロチ, 憲兵に2.4億ズロチ, 特殊部隊軍に2.8億ズロチ, 軍の指揮運営費に9.2億ズロチ, 軍情報に4.1億ズロチ, 研究開発費に7.2億ズロチを配分する。

退役中将, 更迭【2日】

2日, 元陸軍司令官で軍事科学研究所のワルデマル・クシュチャク退役中将は, ミシェヴィチ国防省報道官を批判したことで更迭された。

国営防衛産業, MBDA社と技術協力【2日】

2日, 国営防衛産業(PGZ)は, 数ヶ月前から短距離地对空ミサイル(ナレフ計画)を共同研究していた欧州のMBDA社と技術協力を署名した。同社はPGZにアスター30を使用したSAMP-Tミサイルシステムを提案している。また, スタンレイ同社副社長は機会があれば, 中距離地对空ミサイル計画のビスワ計画にも参画する用意があると述べた。

ドゥダ大統領のウクライナに関する発言【2日】

2日, ドゥダ大統領は, テレビ番組において, ウクライナにて, 第二次世界大戦時にポーランド人虐殺に関わったウクライナ民族主義者に敬意を表する一連の法律が採択されたことは, 両国間関係に影響を及ぼす, ポーランドはウクライナとの関係において歴史的な事実を断固として求めており, ウクライナは殺人者を美化するのを止めるべきであり, 本問題が解決されるまでウクライナとの適切な関係を持つことは難しいと述べた。

シドウウォ首相のEU非公式首相会合への出席【3日】

3日、シドウウォ首相は、マルタで開催されたEU非公式首相会合に出席した。同会合では、地中海中央ルートからイタリアに流入する移民への対処方針を示したマルタ宣言が発出された他、対露制裁の継続、EU改革等が議題となった。

外国人滞在許可申請件数の発表【3日】

3日、ポーランド外国人局は、2016年に当国にて滞在許可証の申請を行った外国人の数は15万2,000人で、前年比30パーセントの増加し、その内1万人がEU加盟国出身者からの申請で、残る14万2,000人はEU非加盟国出身者からの申請であったと発表した。EU非加盟国の申請者は、ウクライナ人が前年比40パーセント増で最も多い9万6,600人（全体の66パーセント）であり、ベラルーシ人が4,800人、中国人が4,700人、インド人が4,100人、ベトナム人が4,000人と続いた。EU加盟国出身の申請者では、最も多かったのはドイツの2,400人、次いでイタリア人が1,100人、ブルガリア人が800人、ルーマニア人とイギリス人が各々700人であった。

国営防衛産業、米国ノースロップ・グラマン社と協力【3日】

3日、国営防衛産業（PGZ）は、米国ノースロップ・グラマン社と海軍用AESA-GaNレーダー及び指揮通信・偵察・情報システムに関する協力協定書に署名した。

大統領府国務次官、ポーランドによるベラルーシへの諜報員の侵入の報道を否定【4日】

4日、シュチェルスキ大統領府国務次官は、米政府関係者と、ポーランドがベラルーシに諜報員を侵入させ活動しているというAP通信社の報道に関し、証拠がなく信頼性に乏しく事実でないことを確認したと述べた。

米機甲旅団の一部、エストニアへ移動開始【5日】

5日、米機甲旅団の一部の第68機甲連隊第1大隊の80両の装甲車は、ポーランドからエストニアへ移動開始した。

カチンスキ PiS「法と正義」党首とフィツォ・スロバキア首相との会談【5日】

5日、カチンスキと党「法と正義」（PiS）党首は、スロバキア北部のスタリ・スモコヴィェツにてフィツォ・スロバキア首相と会談した。同党首は、記者に対し、スロバキアはポーランドにとって関心事を共有する重要なパートナーであり、中・東欧諸国が、EU改革やエネルギー政策の議論などにおいて、一つの声で発言する事が重要であると述べた。

国防省報道官、国防省のHP上の名簿から記載消える【6日】

6日、ミシェヴィチ国防省報道官は国防省のHP上の名簿から削除された。シドウウォ首相及びカチンスキ党首が同大臣に同報道官を更迭すべきと伝えたと噂がある中、マチェレヴィチ国防大臣は、未だに同報道官を更迭せず、休暇として処遇している。

第15旅団、ポーランド派遣予定の米軍を訪問【6日】

6日、ポーランド陸軍第15旅団の代表者は、NATO東方プレゼンス強化（EFP）のためポーランド東部へ派遣予定でドイツ・ヴィルシェックに駐屯する米陸軍第2騎兵連隊を訪問し、調整等を行った。同連隊は4月までに人員800名、戦闘装甲車67両を運搬する予定である。

メルケル独首相のポーランド訪問【7日】

7日、メルケル独首相はワルシャワを訪問し、ドゥダ大統領、シドウウォ首相及びカチンスキ与党「法と正義」党首と会談を行った。各会談では、欧米関係、欧州の安全保障、欧州の将来及び二国間関係について意見交換が行われた。

プシュミツル市長のウクライナ入国禁止の解除【7日】

7日、ポーランドの国営通信は、デシチーツァ駐ポーランド・ウクライナ大使がホマ・プシュミツル市長宛に書簡を送付し、同市長のウクライナ入国禁止措置が1月26日をもって解除されたことを通知したと報じた。同書簡において、デシチーツァ大使は、入国禁止措置により迷惑をかけたことに対して謝罪するとともに、今後、両国が友情及び相互尊敬の精神で、両国の協力を継続していくことへの期待を表明した。

ドゥダ大統領と周辺国防衛担当大統領補佐官会議での発言【7日】

7日、ドゥダ大統領は、安全保障及び欧米関係に関するポーランド、リトアニア、ラトビア及びスウェーデンの大統領防衛担当補佐官による会合に出席し、同盟として計画に基づき行動すること、良好な大西洋関係構築のために全力を尽くすことが重要であり、また、ポーランドは NATO の枠内にてラトビア及びルーマニアへ部隊を派遣する旨述べた。

ヴァシチコフスキ外相のEU外務理事会出席【7日】

7日、ヴァシチコフスキ外相は、ブリュッセルで行われた EU 外務理事会に出席した。同理事会では、ウクライナ情勢、リビア情勢、エジプトとの関係及び中東和平プロセス等について議論された。また、同外相は、同理事会に合わせて、V4 諸国、独、伊及びスペインの外相と会談を行った。

ヴァシチコフスキ外相のスモレンスク政府専用機墜落事故に関する発言【7日】

7日、ヴァシチコフスキ外相は、2010年のスモレンスク政府専用機墜落事故に関し、露政府がポーランド政府の機体の返却要請に応えないため、同政府をハーグ国際司法裁判所に所有物差し押さえで告訴する方針であると述べた。

ドイツ戦闘機、エストニア上空で露航空機に領空侵犯措置【7日】

7日、バルト領空警備任務につくドイツ・ユーロファ

イター戦闘機は、エストニア上空でロシア軍バルト艦隊所属のAn-26に対し対領空侵犯措置を行った。タサクナ・エストニア国防大臣が国内アマリ基地を視察時、同ドイツ戦闘機は同基地を離陸した。

新統合全般司令官、任命【8日】

8日、ドゥダ大統領はヤロスワフ・ミカ少将を統合全般司令官に任命した。前司令官のロジヤンスキ中將は2015年に任命され、2018年までの任期であったが、2016年12月12日、辞任書を提出し、2017年1月31日、ドゥダ大統領に受理された。

経 済

経済政策

市電と市バスの車両の入札【6日】

ワルシャワ市は、23億ズロチ相当となる213両の市電車両の入札を行うと発表した。ヴィラノフ区等で新たに延長される区間に使用される予定で、第一

回目は2019年～2023年に納品予定。また、2027年までに全てのバスを入れ替える計画と発表している。

マクロ経済動向・統計

中央銀行の経済予測【8日】

中央銀行(NBP)のグラピンスキ総裁は、2017年第2四半期、遅くとも2017年半ばより経済は上向き始め、対前年比3.5から3.6%の経済成長を達成する見込みと記者に述べた。金融政策委員会は8日、政策金利の据え置きを発表したが、全委員が現状で様子を見るのが最良の戦略と同意したものだ、とグラピンスキ総裁は述べている。

月から4%減少しているが昨年同期とほぼ同じ水準とのこと。

昨年末の出生率増加【7日】

中央統計局(GUS)によれば、昨年11月と12月を併せた出生率は対前年同月比で20%増加した。ウッチ大学シュカルスキ(Szukalski)教授はこの増加は明らかに児童手当「ファミリー+500」の効果であるとしている。他方、年間を通じての出生率は1.29人で前年とほぼ同じ水準にとどまっている。

2017年の倒産件数見通し【7日】

輸出信用保険会社(KUKE)によれば、2017年の倒産件数は、昨年とほぼ同じ約600件となる見込み。2017年1月の倒産件数は47件であり、12

ポーランド産業動向

1月の新車登録台数【3日】

自動車産業専門調査会社 Samar によると、今年1月のポーランドにおける新車(乗用車及び商用車)の登録台数は41,935台で、前年同月比17.2%増、前月比15.4%の増加であった。Samarによると、1月の登録台数としては過去16年で最も多く、法人による登録数が多かったとしている。

ジェチポスポリタ紙は、デジタル家電、アパレル等のポーランド企業の例を挙げ、中国での人件費が高騰しているため、中国での生産からポーランド国内での生産に切り替えている例が出てきていると報じている。コンサルタント会社の話として、2005年当時、中国での給与水準はポーランドの4分の1程度であったが、現在ではその差が縮まり中国の給与水準はポーランドよりも15%低い程度になったと指摘している。

ポーランド企業が中国での生産から本国に回帰【8日】

エネルギー・環境

ヴロツワフ市、2018年より電気自動車レンタルサービスを開始【2日】

ヴロツワフ市は、2018年春より市内の短距離移動のための電気自動車レンタルサービスを開始する。入札の結果、ワルシャワの Enigma 社が同事業を運営することとなった。サービスには200台程度の日産リーフが導入され、市内30か所に充電所が設置されるほか、専用駐車スペース等も整備される。

メルケル独首相との会談におけるシドゥウオ首相の発言(エネルギー関係)【7日】

メルケル独首相との会談において、シドゥウオ首相は、ノルドストリーム2パイプライン建設には反対であると述べるとともに、欧州委員会の提示するウ

インターパッケージ提案に関する共同作業グループを設置することに合意した。

EUのCO2排出量取引制度に関する環境副大臣の発言【8日】

環境省サウエク副大臣兼気候変動政策政府特命全権は、下院において、EUの排出量取引制度(EU-ETS)は国家の存続に関わる重要な問題であり、ポーランドに不利益をもたらすものであれば政府は法廷で争う用意があると述べた。ポーランド側が問題視しているのは排出権削減の割合で、年間2.2%又は2.4%が提示されており、ポーランド側はコスト負担を増加させる案の成立を阻止したい考えである。

大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条の 카테고리D査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生していませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=173>

パスポートダウンロード申請書のご案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584-73 00, Eメール:

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

文化行事・大使館関連行事

【開催中】展覧会「お茶と日本酒:日本の二つの飲み物」【11月19日(土)～2月12日(日)】

トルン旧市庁舎博物館にて、お茶と日本酒に関する展覧会が開催され、錦絵、茶碗をはじめとした茶道具、徳利、ぐい呑等の展示が行われています。

開催場所:トルン旧市庁舎博物館, Kamienica pod Gwiazda, ul. Rynek Staromiejski 35

詳細：<http://www.muzeum.torun.pl/>

【開催中】明治神宮写真展【2月1日(水)～2月14日(火)】

ワルシャワ・ワジェンキ公園屋外ギャラリーにて、明治神宮の写真展が開催されています。

開催場所：ワルシャワ・ワジェンキ公園屋外ギャラリー

Łazienki Królewskie Galeria Plenerowa, ul. Agrykoli

詳細：<http://www.lazienki-krolewskie.pl/pl/wydarzenia/meiji-jingu>

【予定】木米真理恵ピアノリサイタル【2月12日(日)18時～】

ワルシャワにて、ピアニスト木米真理恵さんによる帰国記念リサイタルが開催されます。

チケット(全席指定) S席 70 PLN, A席 40 PLN

チケット：ワルシャワフィルハーモニー窓口 (ul. Sienkiewicza 10) または mariekiyonepianorecital@gmail.com まで

開催場所：ワルシャワフィルハーモニー室内楽ホール, ul. Moniuszki 5

【予定】日本の浮世絵展「女：美・カ・忘我」【2月14日(火)～5月3日(火)】

クラクフ国立博物館にて、「女性」をテーマとした浮世絵展が開催されます。浮世絵の他、着物、帯、屏風、鏡、かんざし等も展示される予定です。

開催場所：クラクフ国立博物館, Al. 3 Maja 1

詳細：<http://mnk.pl/wystawy/onna-piekno-sila-ekstaza>

【予定】「江戸への旅」浮世絵展【2月25日(土)～5月7日(日)】

ワルシャワ国立博物館にて、イェジ・レスコヴィツ氏所蔵コレクションによる浮世絵展が開催されます。

開催場所：ワルシャワ国立博物館, Aleje Jerozolimskie 3

詳細：<http://www.mnw.art.pl/>

【予定】日本語弁論大会【3月11日(土) 12:30～】

在ポーランド日本国大使館広報文化センターにて、第38回日本語弁論大会が開催されます。ポーランド人日本語学習者(高校生及び大学生)による日本語のスピーチと質疑応答が披露されます。入場無料。

開催場所：在ポーランド日本国大使館広報文化センター, Al. Ujazdowskie 51

詳細：http://www.pl.emb-japan.go.jp/itpr_pl/benron2017.html

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 newsmail@wr.mofa.go.jp (ご連絡は電子メールでお願いします。)